

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	桜島まるごと体験村プロジェクト
対象地域	鹿児島県鹿児島市 桜島
対象地域の概要	  【位置図】 【位置図 対象地域 古里・有村地区（東桜島）】   【耕作放棄地 椿畑】 【耕作放棄地 ビワ畑】
提案内容の概要	本事業は、過疎化に伴い地域活動が低下しつつある田舎と、田舎にあこがれる都市部の人々が一緒になって「自分たちのムラ」をつくる体験活動を行うプロジェクトである。田舎と都市が交流しながら、空き家の活用、耕作放棄地の手入れ、野菜作り、畜産などを行い、昔ながらの豊かな「ムラ」（循環型社会）を取り戻す
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	東桜島の中でも、古里・有村地区は高齢化率が50%を超えており、高齢者の一人暮らしも多い地域である。地区の人々の高齢化が進むと共に、耕作放棄地、空き家が年々増加している。地区の町内会の人々の中からこの状態を打開するために何か行動を起こしたいという意見が挙がった。 そのため古里・有村地区では、このような耕作放棄地や空き家を有効利用するために活動目標を設定し、目標に向け実際に活動することが今後の課題である。
(2) 活動内容の案	活動①：体験活動指導者養成講座・救急法講座 内容： 本事業で体験を受け入れるためのリスクマネジメントとして、体験活動指導者養成講座と救急法講座を開催する。 この講習会の受講者は、本事業の受入れ予定者だけでなく、体験活動に興味・関心のある人などを広く募集する。 活動②：桜島まるごと体験村プロジェクト 内容： 古里・有村地区で耕作放棄地の開墾、ビワの袋かけ、桜島小みかんの収穫などその季節にあった農業体験・畜産体験・釣り体験などの様々な体験を提供する。体験の受け入れは、古里・有村地区の町内会の有志が集まった「改新会」を中心とした地域住民が行う。 体験は、月1回の計6回程度とし、希望者がいる場合には一泊二日の宿泊体験も受け入れる。その際の宿泊場所は、古里・有村地区の旅館や空き家を利用する。 活動③：アンケート調査及び来年度以降の話し合い 内容： 本事業に参加した人（外部の体験者・地元住民）に対し、アンケート調査を行い、本事業の客観的意見を把握する。 また、そのアンケート調査結果をふまえ、来年度以降の活動計画を策定する話し合いの場を設ける。

応 募 団 体 名	特定非営利活動法人 桜島ミュージアム
リ ン ク	http://www.sakurajima.gr.jp/
部 局 ／ 担 当 者 名	理事長 福島大輔
連 絡 先	０９９－２４５－０１００
推 薦 市 町 村 名	鹿児島県鹿児島市